

縄南中通信



平成27年 4月 8日 発行
2015年度 第1号

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」

東大阪市立縄手南中学校
校長 日比野功

教育活動の重点キーワード

「縄南道」の形成、「心・技・体」の研鑽

目指すは「人格形成」による日本一、そして「縄南道」！

140名の新入生を迎え2015年度の「縄南道」がスタートしました。縄手南中学校は今年も「縄南道」と呼ぶ「人格形成」のもと意識を高く持ち、日本一を目指すことに変わりありません。2、3年生の諸君には繰り返しになりますが、新入生を迎えたことで今一度「縄南道」についての基本的な考え方を確認しておきましょう。「縄南道」では、勝つときには必ず「勝因」があり、負ける時には必ず「敗因」があると考えています。さらに、「勝因」には「一生懸命」「ていねい」「ひたむき」という要因があり、「敗因」には「いい加減」「適当」「だいたい」という要因であると考えています。ですから「だいたいできた」は「勝因」ではなく、「だいたいにしかできなかった」という「敗因」があると考えています。なぜ、「だいたいにしかできなかった」のかと自分自身に問いかけなければなりません。また「勝因」の中でも、時間のかかることと、今すぐ誰にでもできることがあります。例えば、ボールを遠くまで投げるとか、バーベルを何キログラム持ち上げるとか、テストで何点取るとかというように、時間をかけてコツコツと継続しなければ、そう簡単に結果がでるものではないこともたくさんあります。しかしながら、自分自身の「意識」次第で、今すぐ誰にでもできることがあります。それが縄手南中学校のモットーとしている「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」です。この「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」については新入生の諸君にはこれから時間をかけながら繰り返し伝えていきますが、この、今すぐ誰にでもできる「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」でさえ、そう簡単ではありません。自分の気持ちや気分が乗っている時、また、自分が好調であるときもあれば、自分の気持ちや気分が乗っていない時や劣勢である時もあります。どんな時にでも歯をくいしばってやらねばならないことを着実に当たり前に、さらにコツコツと実行し続けることは容易ではありません。まさに自分自身との勝負です。「縄南道」では、「意識」が変われば「行動」が変わり、「行動」が変われば「習慣」が変わり、「習慣」が変われば当然「結果」が変わると考えています。つまり、どんな時にでも自分自身の「意識」の在り方、物の考え方、そして自分に関わっていただいている周りの方々への感謝等、目の前にあることだけでなくいろいろな状況を深くしっかりと考え、当たり前のことを当たり前に着実に実行することのできる力を身に着けなければならないと考えています。高いレベルの状況には高いレベルの「空気」が存在します。静寂な場面には静寂な「空気」、活気のある場所には活気のある「空気」、凛とした場面には凛とした「空気」など、その場面、場所に居る者の「意識」や「モチベーション」の在り方がその場の「空気」を生み出します。「空気は人を創る」と言いますが、「人が空気を創る」とも言われます。「環境は人を創る」と言われるように、その場の人が創り出す「空気」は「夢を叶える」ための要素としてとても大切なものです。「縄南道」では「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」

を徹底することで「勝因」を生み出す「空気」を創ろうとしています。「勝因」を創れない人は失敗を人のせいにしてたり他の要因のせいにしてたりします。また、必ず言い訳をします。「縄南道」では「言い訳は進歩の最大の敵」であるとも伝えていきます。未来にはばたく縄手南中学校の生徒にとって日々いろいろなことがあります。いつもうまくいくことばかりではありません。それでも「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」を実行すれば、必ず「勝因」となる「空気」を創ることができるはず。不器用で少しの遠回りはいくらしてもかまいませんが、いい加減に、適当に、だいたいにはかやれないということは回避しましょう。縄手南中学校の生徒諸君、日本一への2015年度のスタートが切られました。前進あるのみ！がんばりましょう。

クラブ対外試合への途中、縄手南中生徒「あっぱれ！」とお褒めの言葉

校外から学校への連絡で昨年度はいくつかお褒めいただいた内容を紹介しましたが、この春休み中にも1つ嬉しいことがありました。サッカー部の生徒が富田林市へ対外試合へ行く途中の電車内での出来事です。座席が空いたので1年生（現2年生）が座ると、2年生（現3年生）が他の方が座れるようにと立っておく指示をしたそうです。同じ電車に乗車されていて、その前後の場面に出くわされた方から学校に、「本当にマナーの良い生徒さんたちでした。また、上級生の指示も生意気なことも全くなく、自然な感じで本当に良かったです。カバンに縄手南中とあったので」と連絡を下さいました。縄手南中生徒、あっぱれです。

先生方の異動のお知らせ

縄手南中学校を去られた先生

渡邊学先生（社会・長栄夜間中へ）、	黒崎邦宏先生（技術・英田中へ）
谷尚美先生（保健体育・意岐部中へ）、	河谷達仁先生（英語・枚岡中へ）
水野莉沙子先生（音楽・青森県三沢市へ）、	松浦慧先生（社会・盾津中へ）、
石田忠先生（数学）、 梶田健司先生（国語）、	笹田哲平先生（太平寺小へ）
リーオカラハン先生（ALT・大阪商業大学へ）、	吉本樹里先生（家庭・2年間大学院へ）
長森一也さん（校務員室・縄手小へ）、	竹村薫さん（校務員室・八尾市へ）

縄手南中学校に来られた先生

浅野浩志先生（技術・盾津中より）、	小川剛史先生（国語・俊徳中より）
土居葉菜先生（保健体育）、 白井喬之先生（社会）、	前久保智博（社会）、
伊東菜穂先生（音楽・花園中より）、	
米島聖子さん（校務員室）、	

縄手南中学校アドバイザーリースタッフ紹介

日本一をみざす縄手南中学校の教育活動の特徴として、様々な側面から支援・指導いただけるスタッフの先生方をお招きしています。本校ではアドバイザーリースタッフとして授業やクラブ活動、委員会活動、生活指導等に助言いただいています。

澤井幸男先生（元大阪府警警察官、本校学校協議会委員）、
乾龍介先生（元朝日放送アナウンサー、本校学校協議会委員）
岸本恵一先生（大阪産業大学アメリカンフットボール部アスレチックトレーナー）
竹中淳子先生（元ラジオ大阪制作スタッフ、元FMちょおアナウンサー）、
旭堂南青先生（上方講談師）
神代千穂先生（元OSK所属、現ダンスインストラクター）、
吉田誠先生（奈良教育大学教職大学院教授）、中務充起代先生（元東大阪市小学校校長）、
千須和直美先生（大阪市立大学院特任助教）、水野治久先生（大阪教育大学教授）、
谷本佳彦先生（フードスペシャリスト、細菌研究員）、